

製品名: Rab 5A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21505**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:24kD;Observed MW:24kD

抗原情報

遺伝子名	RAB5A
別名	RAB5A;RAB5;Ras-related protein Rab-5A
遺伝子 ID	5868.0
SwissProt ID	P20339
免疫原	ヒト Rab5 の合成ペプチド

背景

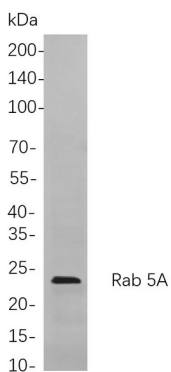
細胞局在: 細胞質、膜。酵素制御: 結合 GDP と遊離 GTP の交換を促進するグアニンヌクレオチド交換因子 (GEF) によって制御され

る。機能: 細胞膜と初期エンドソームの融合に必要。類似性: 低分子 GTPase スーパーファミリーに属する。Rab ファミリー。細胞内局在: ステージ I メラソームに豊富に存在。サブユニット: EEA1 に結合する。RIN1 および GAPVD1 と相互作用し、おそらく GEF として作用することで、その経路を制御する。ALS2CL、UNC84B、ZFVVE20、RUFY1 と相互作用する。SGSM1 および SGSM3 と相互作用する。

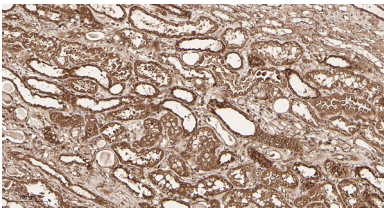
研究分野

-

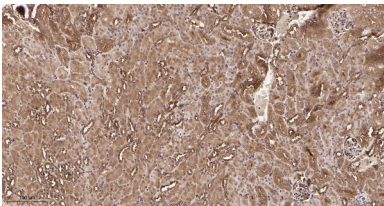
画像データ



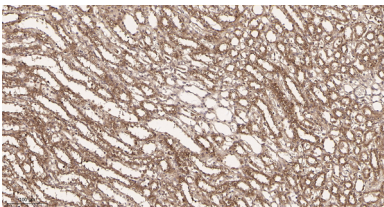
Rab 5A ウサギ mAb を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト腎臓組織の免疫組織化学分析。1、Rab 5A ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋マウス腎臓組織の免疫組織化学分析。1、Rab 5A ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット腎臓組織の免疫組織化学分析。1、Rab 5A ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。